

第56回功労者・永年勤続者表彰式

11月26日(木)、石川県地場産業振興センターにおいて「第56回功労者・永年勤続者表彰式」を開催し、受賞された功労者表彰5名、勤続30年表彰61名、勤続20年表彰40名、勤続10年表彰70名の計176名の方々に表彰状と記念品が授与されました。菱沼会長は式辞の中で「ひとり一人の前向きな姿勢、懸命なご努力こそが、企業の発展は勿論のこと、業界を前進させる大きな原動力となっています。」と永年にわたる熱意と功績に感謝の言葉を述べられました。また、谷本知事からは「これからも機械産業に働く喜びと誇りをもってお仕事に励まれ、その豊かな経験を



次代の人材の指導育成に活かされますようお願い申し上げます。」と激励のお言葉をいただきました。なお、来賓を代表して稲川県議会議長、山野県市長会会長（金沢市長）からご祝辞をいただきました。終わりに受賞者を代表して(株)北菱の清水紀雄さんが「モノづくり業界のより一層の繁栄と石川県の振興・発展に貢献できるよう全力を尽くしたい」と謝辞を述べられました。

協会トピックス

メッセナゴヤ2020 オンライン展示会

11/16(月)～12/11(金)までの26日に亘ってメッセナゴヤ2020 オンライン展示会が開催され、会員企業14社がオンライン上で自社の製品や技術を紹介しました。

オンライン展示会は、ウイズコロナの中、業種・業態の枠を超え、自慢の製品、技術、サービスが集結し、情報発信、情報交換、ビジネスマッチングの場として活用できる新しい商談のツールとして、各方面で開催されています。

会期中は時間、場所に制約されることなくアクセス出来、メッセナゴヤではオンラインでの名刺交換、メッセージ交換等の各種機能のほか、AI マッチングシステムにより、出展者・来場者の思いもよらない新たな出会いを創出する仕組みを備えていました。

新分野進出委員会 Web 講演会

開催日：令和2年11月18日(木)

開催場所：石川県鉄工会館 2階 会議室

テーマ：「コロナ禍におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の最新動向」

～コロナ以前からのDXトレンドの加速～

講師：(株)日本総合研究所 専務執行役員 井熊 均 氏

総参加者：45名

近年注目を集めているDX及びコロナ禍で急成長しているコロナ関連技術の技術革新と社会実装について、この分野での先進国である中国社会への造詣が深い、(株)日本総合研究所 専務執行役員 井熊 均 氏にご講演をお願いしました。

あっという間に登場したDXプロダクト・コロナ関連技術の背景は、短期間（2～3か月）で従来市場にあるマイコンチップにより制御された、モーター、電池、Lidarなどと簡素化されたハードウェアにより実現されたもので、このスピード感は中国独特の強みであり、日本は真似の出来ない事と結論されました。

自動化・省力化の推進に係る事業の実施

★自動化・省力化推進研究会の開催

研究会では第1回目につき2回にわたってWebセミナーを開催致しました。第2回目は工作機械メーカーから見る自動化とロボット導入事例の紹介を受け、第3回目はFA・ロボットシステムインテグレーター協会よりコロナ禍におけるSler業界の現状とSler検定3級取得に向けてご説明頂きました。

<第2回> 開催日：令和2年10月19日(月)

会 場：金沢市ものづくり会館 総参加者：55名

テーマ：「進化する工作機械の自動化～ロボット・周辺機器・トータルシステムの未来～」

DMG森精機株式会社 システム技術営業部 部長 柏木 悟 氏

「全国で開催中のDMG森精機、5軸プライベートレッスン内容を石川県の皆様に」

DMG森精機株式会社 5軸コンペティンスセンタ 有村 宏 氏

<第3回> 開催日：令和2年12月22日(火)

会 場：鉄工会館 2階 会議室 総参加者：25名

テーマ：「コロナ禍におけるロボットSler業界の現状」

「ロボットSler検定3級について」

一般社団法人日本ロボット工業会

(FA・ロボットシステムインテグレーター協会)

森川 華子 氏



★製造業向けロボット・IoT導入による生産工程カイゼンセミナー

研修期間：令和2年11月11日(水)～13日(金)

研修会場：石川県鉄工会館

参加者：12名

産業用ロボットやIoTの導入が注目されているなか、中小企業にとってはハードルが高く、また、県内には相談できるロボットの専門家が少ない状況です。本セミナーでは、岐阜県の㈱VRテクノセンターより講師を招き、企業の実情に即した効果的なロボットやIoT導入の進め方や、生産工程カイゼンの手法を、実習を交えて学びました。



環境委員会 Web 講演会

開催日：令和2年12月8日(火)

開催場所：石川県鉄工会館2階会議室

テーマ：「アフターコロナでさらに加速する自動車の電動化」

～燃料電池自動車の開発動向と中小企業参入のポイント～

講 師：技術研究組合 FC-Cubic専務理事 大仲 英巳 氏

総参加者：47名

現在、クリーンエネルギーとしての水素の利活用がクローズアップされています。

トヨタ自動車㈱にて燃料電池自動車（FCV）の開発に携わっておられた大仲氏を講師に、燃料電池自動車（FCV）の開発動向と、中小企業参入のポイントについて、幅広くご講演頂きました。

特にFVCはポテンシャルの高さから、自動車以外のドローンや船舶、鉄道、建機など従来のエンジンやバッテリーに代わる幅広い動力源への適用が期待されます。

中小企業参入のポイントとして、FCシステムの燃料電池以外の部品は従来の延長上の技術が十分生かせる分野であり、まずトライする事が大事ですが、ビジネスには時間がかかるので、中長期目線は必要と結論されました。



モノづくり人材育成対策事業

★工業系高校教員＆モノづくり企業との懇談会

開催日：令和2年12月9日(水)

会 場：石川ハイテク交流センター

参加者：ものづくり企業32名、

高校17名（校長5名、教員11名、教育委員会1名）

工業系高校教員＆モノづくり企業との懇談会を開催しました。

はじめに石川県教育委員会より「今年度の進路・就職傾向について」の報告があり、その後3班に分かれ昨年度に引き続き「求められる学習内容と人材像について」、「中小企業の求人活動」などのテーマで意見交換を行いました。

意見交換では、企業側から「高校生の間に『自身で考えること』を身に付けてほしい」や「働く環境を整えたり、Webを活用して企業PRを行っている」という意見がありました。学校側からは「高校生の就職は保護者の影響が大きい」、当校では保護者としてではなく、社会人の先輩として働くためのアドバイスをしてほしいと機会あるごとに話している、「リモートでの面接が数社あったが、生徒側のWeb環境が整っていないため今後の課題となる」などの話がありました。

懇談会に先立ち、高校の皆さんが**技研(株)**（能美市）の自動搬送装置（ガンドリーローダー）組立ラインを見学しました。

（意見交換会の詳しい内容については協会ホームページに掲載）



★ 高校教員工場見学会

石川県内高校の進路指導担当者に地元のモノづくり企業を知ってもらうことを目的とした3地区の工場見学会を石川県教育委員会と共催で開催しました。

参加した教員からは「一つの機械製品が完成するまでに、幾つもの工程を得る必要があることを、見学を通じて肌で感じる事ができました。」「生徒達が地元の素晴らしい企業のことをほとんど知らないのが残念です。見学したことを生徒達に伝えたい。」「世界のトップ品質を出荷している企業が地元にあることを知る良い機会となりました。」などの感想が寄せられました。



月 日	地区／人数	見 学 先
12月 1 日(火)	加賀/16名	村田機械(株)加賀工場
12月 3 日(木)	金沢/27名	ホクショー(株)
12月 4 日(金)	能登/20名	(株)富士通ITプロダクツ

★トップが語る石川の産業の魅力（共催：ジョブカフェ石川）

開催日：令和2年9月28日(月)

場 所：石川県立津幡高等学校 132名

講 師：石川可鍛製鉄(株) 代表取締役社長 塩谷 栄治 氏



★モノづくり講演会

開催日：令和2年11月7日(土)

場 所：石川県立羽咋工業高等学校 120名

講 師：土肥研磨工業(株) 専務取締役 土肥 憲太 氏



開催日：令和2年12月10日(木)

場 所：石川県立工業高等学校 80名

講 師：(株)サンエー精機 代表取締役社長 山本 伊智郎 氏



働き方改革関連法セミナー

★第二回働き方改革 Web セミナー

日 時：令和2年11月19日(木)

場 所：石川県鉄工会館 2階 会議室

演題・講師

中小企業における同一労働・同一賃金の対応について

山腰法律事務所 弁護士 山腰 茂広 氏

総参加者：36名

会員企業、特に中小企業の喫緊の課題である、2021年4月1日施行の中小企業における同一労働、同一賃金への対応について山腰弁護士よりご講演頂きました。

改正のポイントは正規雇用労働者と非正規雇用労働者（パート・有期・派遣）との間で

- (1) 不合理な待遇差の禁止
 - (2) 労働者に対する待遇に関する説明義務の強化
 - (3) 行政による事業主への助言・指導等や裁判外紛争解決手続（行政ADR）の整備
- であります。

最近の最高裁の判例では、諸手当の目的や支給根拠が問われており、例えば住宅手当の支給の根拠は転勤の可否であること、家族手当の目的としては子育て世代社員の家族の養育＆住宅取得の世代で費用がかかる為に福利厚生等の趣旨で支給するものであり、定年退職後の再雇用者に支給しなくとも目的に反しないこと（恐らく、通常扶養する子どもがいないことや既に住宅を取得済みであることを考慮していると思われる。）等その他事情を考慮し、様々な正規雇用労働者との待遇差について個々の事例ごとに不合理か否かを判断している。現時点において不合理か否かの判断は、最終的に裁判所における個々（ケース・バイ・ケース）の判断にゆだねられているのが実状と説明いただきました。



★能美機器協同組合 働き方改革セミナー

日 時：令和2年11月20日(金)

場 所：能美機器協同組合 2階 会議室

演題・講師

「働き方改革」

～中小企業における同一労働・同一賃金の対応について

高岡経営労務事務所 特定社会保険労務士 高岡 哲夫 氏

参加者：11名

今回の働き方改革は、年次有給休暇の確実な取得、時間外労働の上限規制の導入、正規雇用労働者と非正規雇用労働者の間の不合理な待遇禁止の3点です。

現在注目されているのは、同一労働同一賃金で、正規・非正規従業員の待遇格差をめぐる訴訟での最高裁の判決です。最大のポイントは、正規で働く人材の確保という目的が賃金制度にあるなら、格差は認められると判断した点であります。正規・非正規の二極化を最高裁が是認したかたちが注目されます。また賞与・退職金の支給についても言及「正職員・正社員としての職務を遂行し得る人材の確保やその定着を図るなどの目的」があるとし、結果として待遇格差が生じることは不合理ではないとした点であります。

これまでの裁判では「有為な人材の確保」のためには正社員の厚遇は不合理でないとした例があり、今回の最高裁判決はそれを一歩進め、正規雇用そのものの意義を認めた、いわば日本型雇用システムにお墨付を与えた格好です。

しかしながらデジタル化とグローバル化で企業の人事・賃金制度は変革期にあり、長期にわたり人材を「内製」するやり方は壁にぶつかっており、日本型雇用も変革が必要、年功制や順送り人事を廃止して、職務ごとに社内外から最適な人材を起用するジョブ型雇用を提案することは、格差は正も可能となります。今回の最高裁判決は今後の雇用の構造変化を念頭において読む解く必要があります。

また、併せてテレワークの活用の仕方についても説明いただきました。



青年部会だより

<次世代経営者人材育成講座>

開催日：令和2年10月7日(水)

参加者：12名

(株)アイデン 代表取締役社長 池内 保朗 氏に「ベトナム進出で思ったこと」と題して、講演いただきました。ベトナム進出に際し、不安はあったが何度も足しげく現地に出向くことが大事だと伺いました。



<第3回IoT実践研修会>

開催日：令和2年10月29日(木)

参加者：8名

第1回目より引き続き(株)PFU様に講師を務めていただき、今回もIchigoJamを使用し、「IoT実現のヒントにつながる提案」をテーマに、実際にプログラミングを実践しました。研修会冒頭には白山工業(株) 専務取締役 山名 一伸 氏よりIchigoJamを活用した自社での取り組みの事例発表をしていただきました。

<事業承継に関する研修会>

開催日：令和2年11月6日(金)

参加者：23名

当協会の顧問公認会計士 池水 龍一 先生に、「事業承継の青い鳥をさがして」と題し、講演いただきました。事業承継には人づくりが重要であり、その取組と考え方について学びました。

令和2年度 研修スケジュールのご案内

「きでんスクール」：各講座が雇用調整助成金教育訓練の対象となるか石川労働局に確認し、各講座のご案内の際にお知らせいたします。

開催日 (予定)	テーマ	受講料	定員
1月15日(金)	ヒューマンエラーとポカミス対策	3,000	30
2月19日(金)	効果的なOJTの進め方	3,000	30
3月12日(金)	ネクストリーダー研修	3,000	30

ホームページからもお申込みいただけます。 URL <https://www.tekkokiden.jp>

※研修はコロナウイルス感染予防（検温、消毒、マスクの着用、換気等）に留意し、実施しています。

「技能継承スクール」：雇用調整助成金教育訓練（半日分）の対象となります。

開催日 (予定)	テーマ	受講料	定員
1月13日(水)～14日(木)	ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック	6,000	10

令和2年度 協会スケジュール

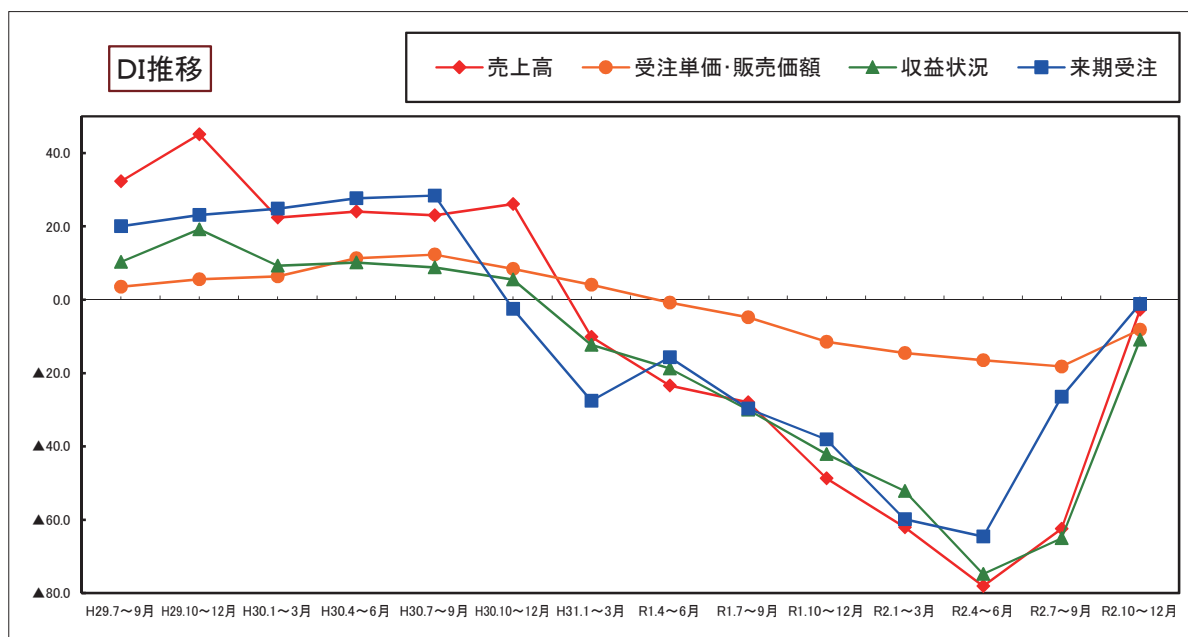
開催日	内 容
会 議	
1月13日(水)	総務・事業企画合同委員会
1月26日(火)	正副会長会議、理事会、臨時総会
1月28日(木)	見本市委員会
2月26日(金)	経営技術指導委員会
3月2日(火)	広報・情報委員会
行 事	
1月19日(火)	石川県知事及び金沢市長へ令和3年度予算要望
1月20日(水)	MOT先進工場見学会（富山県）
1月26日(火)	令和3年新年会員懇親会
2月16日(火)	工業系高校優良卒業生表彰式
2月18日(木)	デザインWeb研修会
2月26日(金)	経営技術指導委員会セミナー

DJ調査結果（令和2年10月－12月期）

概況総括：『新型コロナウイルスの影響に留意する必要があるが
景況感は大幅に改善し底を脱した感はある』

【調査概要】

1. 今期（令和2年10月-12月期）の業況調査DI12項目では、2期連続で全項目がマイナスとなったが、「売上高」、「収益状況」が大幅に改善するなど、10項目で改善している。
2. 現在の経営状況を示す「売上高」から「生産設備」までの9項目では、
 - (1) 景況感を端的に表す「売上高」が▲2.7（前回▲62.4）、「収益状況」も▲10.9（前回▲65.0）と、大幅に改善され、大きく持ち直した。
 - (2) 現場の繁忙さを表す指標では、「操業率」▲34.4（前回▲61.4）、「受注残」▲15.9（前回▲24.9）、「生産設備」▲15.0（前回▲27.9）と、持ち直しの動きがみられるが、引き続き厳しい状況にあり、一部では、いまだ休業を余儀なくされるところもある。
3. 来期については、「来期受注」▲1.2（前回▲26.5）、「来期採算」▲7.9（前回▲33.4）、「来期資金繰」▲8.4（前回▲30.5）と、大幅な改善がみられ、景況感は底を脱した感はある。
4. 「企業経営上の悩み」については、引き続き「受注不安定」が61.0（前回77.1）と新型コロナウイルス感染拡大の影響が出ている。一方、持ち直しが見られる事より「人材不足」が13.8（前回4.9）と上昇してきており、景況が戻りつつあることが伺える。
5. 米中貿易摩擦による景気失速に加えて新型コロナウイルスの影響が拡大して、厳しい状態にあったが、「売上高」など持ち直しを見せており、来期に更なる改善の兆しが見受けられる。しかしながら、依然として新型コロナウイルスの影響等により、状況が一変する懸念があり、国・県による更なる資金繰りや雇用維持などの経営安定対策とともに、国による各種規制改革による経済の活性化が必要と思われる。



◆正田常任理事が旭日単光章を受章

令和2年秋の叙勲で当協会常任理事の正田 正一 氏【(株)正田産業代表取締役会長】が旭日単光章を受章されました。正田氏は、工業用資材の販売業に精励し、平成5年より鉄工機電協会常任理事を務められ、また各団体の要職にあつて業界の発展に貢献してこられました。

◆木村常任理事、武田常任理事が小松市産業功労賞を受賞

令和2年の小松市産業功労賞を当協会常任理事の木村 勉 氏【小松鋼機(株) 代表取締役社長】並びに武田 純 氏【(株)武田工業所 代表取締役社長】が受賞されました。

木村氏は小松鋼機の社長としてものづくりの現場のさまざまな需要に応え、小松商工会議所の工業部会長などを歴任されました。

また、武田氏は武田工業所社長として、生産現場において効率的な製品を生産し、小松商工会議所工業部会長などを歴任されました。

◆会員企業5社が経済産業省の『はばたく中小企業・小規模事業者300社』に選定されました。

選定区分	企業名
生産性向上分野（ものづくり部門）	(株)小林製作所
〃（〃）	共和産業(株)
需要獲得分野（ものづくり部門）	(株)白山
〃（〃）	(株)北菱
〃（〃）	メカトロ・アソシエーツ(株)

『はばたく中小企業・小規模事業者300社』とは

ITサービス導入や経営資源の有効活用等による生産性向上、積極的な海外展開やインバウンド需要の取込み、多様な人材活用や円滑な事業承継など、様々な分野で活躍している中小企業・小規模事業者を、「はばたく中小企業・小規模事業者300社」として経済産業省・中小企業庁が、毎年選定しているものです。

i 会員情報 令和2年12月15日までにお寄せ頂いた内容を掲載しています。

◆代表者の変更

社 名	新代表者名
岩本工業(株)	岩本 博之
(同)LNS ジャパン	中村 高志
(株)ドキュメントデザイン研究所	三島 満広
北陸精鍛(株)	田中 隆

◆MEX金沢2021（第58回機械工業見本市金沢）

会 期：2021年5月20日(木)～22日(土)

会 場：石川県産業展示館 3・4号館

MEX金沢2021はコロナ感染対策を考慮し**事前登録制**といたします。

入場の際は事前にMEX金沢ホームページから登録をお願いします（2021年3月頃公開予定）。

詳しくはMEX金沢ホームページ（<https://www.tekkokiden.jp/mex>）をご覧ください。

〔MEX金沢2021 学生特別企画を開催!!〕

県内外に進学した学生に、県内モノづくり企業を知ってもらい、将来的にUIターン就職を促すことを目的に「学生特別企画」を開催します。

今回は、会場でMEX出展企業と対面式・Web配信のハイブリッド型にて開催！

詳細はMEX金沢ホームページにて随時ご案内いたします。

